

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 2 日

事務事業名		観光協会運営支援事業					事業区分		担当	
政策体系上の位置付け							新規/継続	継続	事務事業No.	040303000547
総合計画の施策名		0403 観光の振興					単独/補助	単独	所属課	050301
政策体系	政策名	04	活力ある産業のまちづくり				主要事業			商工観光課
	施策名	03	観光の振興				市長マニフェスト			
	手段名	03	③観光まちづくりの実践				未来PJ事業		グループ	商工観光グループ
財務会計上の位置付け							合併建設計画事業			
事業期間										
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (平成17年度～)			
	01	07	01	04	01	00	一般会計 観光事業	↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 桜川市の魅力を市内外のより多くの方々知ってもらうために行う観光協会運営支援事業である。 現在会員数は約166名。会費は2,000円。 観光協会会員が企画するイベントのサポートをする。 観光客増をはかるため、観光協会ホームページによりイベント情報、観光情報、会員情報を発信していく。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・観光協会会員が計画した事業の運営支援。 ・パンフレットの作成やホームページの運営等の広告宣伝。 ・会費の徴収、納入事務。 ・会議通知、資料の作成。 ・事業検討会議の実施。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	
観光協会会員が実施する事業のサポート。 観光協会内部の事業の精査。 観光協会ホームページによりイベント情報、観光情報、会員情報を発信していく。 観光協会の会員増強促進。		ホームページ更新日数	日	200.00	250.00	300.00	300.00	300.00	
		新規事業実施数	個	6.00	4.00	5.00	5.00	5.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	
観光協会会員、観光客		会員数	人	153.00	166.00	170.00	180.00	190.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	
桜川市観光協会の活動を支援することによって、桜川市の魅力を市内外のより多くの方々知ってもらう、会員の観光に対する意欲を促す。		ホームページ閲覧数	人	419,645.00	600,865.00	650,000.00	700,000.00	700,000.00	
		観光客数(市内全域)		320,812.00	350,000.00	380,000.00	400,000.00	450,000.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量（事業費）の推移				28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)			期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	6,122	6,122	6,122		0
			事業費計（A）	千円	6,122	6,122	6,122		0
	人件費		正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		
			述べ業務時間	時間	1,547.00	1,600.00	1,600.00		
			人件費計（B）	千円	4,525	4,680	4,680		
トータルコスト(A)+(B)			千円	10,647	10,802	10,802			

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)		30年度事業費 予算(千円)			
	14 使用料及び賃借料	122				
	19 負担金補助及び交付金	6,000				
	合 計	6,122			合 計	6,122

(4) 当該年度の実施内容		30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業				

事務事業名	観光協会運営支援事業	事務事業No.	40303000547	所属課	商工観光課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
H17年の合併に伴い桜川市観光協会が設立され、桜川市観光事業の発展のために開始された。 H25.5.31日に観光協会真壁支部、岩瀬支部を廃止し、観光協会が一括化され会員制と会費制を導入した。 H26.7.1日に観光協会独自のホームページを立ち上げた。 H28.6.1日に桜まつりと納涼大会が観光協会から独立した。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
観光資源への受け入れ態勢の整備が求められている。また物産面の強化もはかってほしいと言われている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	行政主体の事業から脱却し、会員主体で事業を行えるような環境を整備することが、事業の有効性を高めたり、効率性を高めるために必要な事である。よりよい事業を会員が進んで実施できるよう市でサポートをし、同じ予算でも最大限の効果を引き出していくことが求められる。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 （この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	☒ 結びついている 観光協会が発展することで、会員の意欲が促され、市の観光発展に直結する。
	② 公共関与の妥当性 （なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	☒ 妥当である 様々な性質の事業が混在しているため、市でバランスをとる必要がある。観光協会内部で1事業ごとに方向性を考察する必要がある。
有効性	③ 成果の向上余地 （成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	☒ 向上余地がある 様々な性質の事業が混在しているため、観光協会内部で1事業ごとに方向性を考察する必要がある。1事業ごとに成果が向上できるため、全体としても向上の余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 （事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	☒ 影響有 観光客の対応が困難になり、複数年行っているイベントも実施できなくなる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 （類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 連携ができる 市の観光宣伝や、環境整備の点ですでに多くの事業と連携している。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	☒ 削減余地がない 多くの事業、多くの会員を抱えているため、削減は出来ない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 （事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	☒ 公正・公平である 観光協会内部で事業検討会議を行い公正・公平になるように尽力している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	観光協会内部には性質が異なる様々な事業があるため一概には言えないが、1つ1つの事業がまさに変わりつつある状況にある。今後も1つ1つの事業を丁寧に考察し、改善をしていくことで、事業の有効性を高めていきたい。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 終了 ☒ 継続 → ☒ 改革改善を行う → ☐ 現状維持		（複数回答可） ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☒ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☒ 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
事務局を市職員が担っているため大幅な事務量となっている。今後は会の改善とともに事務の軽減を進めていく。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果																						
		コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☒ B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐